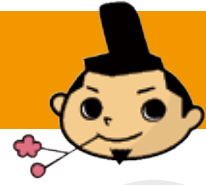


ここが聞きたい 個人質問



問 自治体監査を市政運営の改善と向上に活用せよ

木村 彰人 議員

Q 自治体監査という独立した機関が行う提言や指摘事項を、市政運営の改善と向上に活用すべきと考え、2点伺う。

① 監査による指摘事項の改善・措置状況について
② 議員の一般質問で指摘されてきた太宰府市政の重要課題に関して、地方自治法第199条第6項(*)に基づく、市長の要求による監査請求を行う考えがあるか。

A 理事 ①平成29年度から令和4年度までの6年間に指摘された102件のうち、措置さ

れたのは85件です。

比較的短期間で解決可能なものについては、都度改善を行っています。性質によっては、解決に時間がかかるものもあります。

② 一般質問で指摘のあった重要課題等については、常々真摯に受け止め、改善に努めています。市長の要求による監査請求については、今後その必要性により判断していきます。

※地方自治法第199条第6項には市長自身が監査を求めた場合は必ず監査を行うことと定められています。

全質問項目

- ◇「自治体監査」を市政運営の改善・向上にどう活かすか
- ◇行政経営の指針となる新たな「総合計画」の策定は進んでいるか



録画映像はこちら



問 サル、イノシシ、野良猫に對してどう対策するか

原田 久美子 議員

Q ①市内でもサルとイノシシの目撃は多く、イノシシによる農作物の被害も続く。他市では子どもがサルに襲われてもいる。各学校でもお知らせしていると思うが、サル、イノシシへの対処法、被害状況、市の対策について伺う。

②飼育放棄された飼い猫やその子孫が野良猫化し、悪臭や無責任な餌やりがトラブルの原因となっている。そこで餌やり禁止条例が必要ではないか。また、飼い主のいない猫を保護して不妊去勢手術をする際の費用補助について伺う。

A 理事 ①学校ではサルやイノシシには、近づかない、追いかけない、大声を上げない、目をそらさずに静かに逃げる等の指導をしています。走って逃げた児童が追いかけてひっかかれた事例がありました。保護者へもアプリを通じての注意喚起をしています。

②餌やり禁止条例は、一律に禁止するのが妥当かという問題もあり、まずは調査研究から入ります。不妊去勢手術補助金は、飼い主がいらないことを確認する者2名の署名が必要で、交付決定後に申

全質問項目

- ◇サル、イノシシ、野良猫対策について



市内に出没したイノシシ

請者が捕獲して病院へ連れていき手術をします。なお、補助金は動物病院に直接支払われ、不足額があれば申請者の負担となります。



録画映像はこちら

どうなっとうと？個人質問



問 本市の社会教育としての
子どもの居場所の取組は



録画映像はこちら

Q 子どもたちの居場所、集いの場所について4点伺う。

①子ども会育成会連合会（市子連）への加入率が減少している。市が考

える運営の意義は。

②「地域こどもの日」への市の取組状況は。

③放課後子ども教室を全小学校に拡充し地域活動サポーターの参画を促す計画があるが、現在の進捗は。

④南児童館は地域住民のみでなく市内すべての子ども対象の事業にシフトすべきではないか。

A 部長 ①現在、39の子ども会に約2000名の児童が加入しています。市は

市子連で企画する役員研修や子どもたちの大会等の運営を支援しながら、子ども会活動の理解促進に努めています。

②平成28年度に各自治会に地域こどもの日の制定を呼びかけ、現在44自治会中28自治会で制定されています。コロナ禍後、活動は少しずつ復活しています。

③放課後子ども教室は地域コーディネーターを中心に地域人材や市内大学生等に関わってもらうといった運営しています。

④南児童館では人権センターの設置条例に基づき、地域の子どもたち

の体験や学習の場のみならず、生活そのものの指導、支援を行っています。



全質問項目

- ◆社会教育としての子どもの居場所について
- ◆太宰府市の生産年齢人口について
- ◆重要土地利用規制法(重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律)について



問 消防団の担い手不足を
解消するには



録画映像はこちら

Q 全国的に消防団の担い手不足が問題となっているが、消防団の向上は地域防災力の強化につながるかと考えます。

①操法大会の内容と実際の活動との乖離をどう考えるか。

②操法大会不参加で消防団への加入ハードルは下がるか。

③現在の消防団員のうち市職員の割合は。

④操法大会に向けて予定されている練習計画と以前からの変更点は。

⑤操法大会のメリット、デメリットは。

A 部長 ①消防操法大会は、消防用機械器具の取扱い及

び操作の基本についての技術を競う大会で、団員の士気高揚、消防技術の向上は地域防災力の強化につながるかと考えます。

②選手、役員以外は、大会に向けた訓練に毎日全員が参加するわけではなく、団員の負担軽減のためにも必要な人員を消防団で決定し、加入のハードルが高くならないよう配慮されています。

③令和6年3月1日時点で約34%です。

④練習計画は例年、新年度に消防団で決定しますので、現在のところ未定です。

⑤メリットは、1点目の



全質問項目

- ◆福島原発事故後の除染に伴う汚染土の地方受け入れについて
- ◆消防団の担い手不足の解消について

※記事は2件目を掲載しています



問 安心して出産、子育てができる
出来るまちづくりを求めて



録画映像はこちら

Q 安心して出産、子育てができる出来るまちづくりについて5点伺う。

①こども家庭センターの今後の体制強化は。

②産前産後ヘルパー派遣事業を取り入れてはどうか。

③5歳児健康診査を検討すべきではないか。

④子育て支援アプリ、電子母子手帳への機能追加の予定は。

⑤低出生体重児を育てる母親と先輩ママを繋ぐ取り組みをしてはどうか。

A 部長 ①令和6年度から子ども発達相談室きらきらルームを子育て支援課

に移管し、子育てに関する相談支援体制の一体的な集約強化を図っていきます。

②既に導入している自治体もあることから、今後調査研究を行っていきます。

③現在5歳児健診の補助は行っておりませんが、小学校入学前の就学前健診は実施しています。今後、近隣自治体や関係者と情報を共有しながら、実施の可能性を探っていきます。

④面談日程や相談教室などを予約できる機能を追加し、今後もさらなる強化を図ります。⑤届出により低体重児の出産を把握したらずぐ

に保護者へ連絡し、聞き取りをして地域の家族を紹介するなどしています。今後も母親とご家族の気持ちに寄り添った支援に努めます。



子育て支援センター(うめっこテラス)

全質問項目

- ◆安心して出産子育てができるまちづくりについて



問 空き家の防犯対策を
しっかりと



録画映像はこちら

Q 空き家の防犯対策は緊急課題として3点伺う。

①空き家の防犯対策推進の現況は。

②空き家の件数は、平成28年度の実態調査時点の712件から令和4年度末の379件へと減少したが、実態調査から7年以上経過しているため再調査する必要があるか。

③空き家にしない、させない予防推進強化に力を注いでいただきたいが、市の見解は。

A 部長 ①令和5年12月から令和6年2月末までに、太宰府市内で空き家を狙った空き巣窃盗事件は13件発生しています。

②草木の繁茂、家屋の劣化損傷など、放置すれば問題化しそうな空き家を中心に把握し、解決に向け取り組んできました。再度の実態調査実施については検討を行います。

③本市では、所有者や関係者、近隣住民から寄せられる相談や事例に対し、市と専門機関が連携して空き家予防推進に取り組んでいます。更に、福岡県空き家活用サポートセンターの

協力のもと、相談会やセミナー開催、市内外の建物所有者への啓発と相談窓口の紹介を目的として、納税通知書にチラシを同封する取組も行っています。



全質問項目

- ◆空き家対策について
- ◆文化芸術の振興について

録画映像はこちら



問 自衛隊への個人情報提供の根拠と手続き、方法は？

Q 自衛隊への個人情報提供についての根拠、提供の手続き及び方法について4点伺う。

①令和5年度の個人情報提供の経緯について。

②個人情報保護という観点から問題はなかったか。

③個人情報提供が法にそぐわないということが分かった場合の救済措置は。

④市長の判断基準は。



A 部長 ①4月21日付で自衛隊福岡地方協力本部長から申請があり、8月4日の市長決裁により情報の提供の機関決定を行い、同日、紙媒体で提供しました。

②個人情報が必要保護を要請されるかについては、個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利、利益を保護する目的と認識しております。令和2年度までは自衛隊の方が閲覧の上書き写して持って帰っており、提供しても結果として実態は変わらないと認識しています。

③個人情報提供が、個人情報の保護に関する法律の規定に違反して提供された場合、同法第98条に利用停止請求権が定められています。

④市長は以上を踏まえ総合的に判断したところですので。

全質問項目
◇自衛隊への個人情報提供について
◇セルフネグレクト支援について



録画映像はこちら



問 市の自衛隊への住民情報提供は矛盾だらけだ

Q 令和3年以降、18歳、22歳になる市民の住所、氏名、年齢、性別を市が自衛隊へ提供している件には強い疑問がある。昨年9月議会時の指摘事項、懸念事項の再確認を行い、自衛隊への名簿提供について3点伺う。

①昨年の情報提供を矛盾なく正当化できるか。

②提供された情報が何人の市民にどのような方法で届けられたのかは確認しているか。

③市からの情報により一人暮らしの女性の元へ見知らぬ人がやって来たとする。その女性の気持ちは市の他の施策と整合的と言えるか。

A 部長 ①令和2年度までは対象年齢の方を抽出した住民基本台帳を自衛隊が閲覧の上、書き写し持ち帰っており、令和3年度以降も結果として実態は変わらず矛盾なく正当化することができると考えます。

②昨年はポスティングでの配布と確認していません。情報提供後の結果報告を求めているのではないので把握はしていませんが提供した情報は戸別訪問か、配布だけか、実際使われていないのか、問う立場にありません。申請書にはシュレッダー裁断処置を明記しています。

③そうした場面を想定すれば様々な感情は理解できますが、現時点では選択の余地は少ないところですので。もちろん様々な法の規定に従った支援措置は実施しています。



全質問項目
◇自衛隊への名簿提供について
◇施政方針と高齢者のくらしについて



録画映像はこちら

令和5年度 福岡県中部十一市議会議長会議員研修会報告

日時:令和6年1月24日(水)14時~16時 場所:九州国立博物館ミュージアムホール
演題:「王羲之から菅原道真へ」 講師:九州国立博物館 館長 富田 淳 様

福岡県中部十一市議会議長会とは春日市、大野城市、筑紫野市、小郡市、宗像市、朝倉市、糸島市、古賀市、福津市、那珂川市及び太宰府市の市議会議長をもって組織しており、議員の教養文化を高めるため毎年持ち回りで議員研修会を開催しています。

令和5年度は太宰府市が主催市となり、全11市230人もの議員が参加しました。

富田館長による講演では「王羲之って誰？」から始まり、「蘭亭序って何？」や、最後に菅原道真の「曲水宴」(寛平二年(890年)、讃岐守の任期を終えて帰洛したときの曲水宴での作詩歌)の紹介など、たいへん有意義な研修会でした。

講演終了後、数名の議員から講師へ質問があり、丁寧な回答を頂きました。



富田 淳 館長



九州国立博物館ミュージアムホール

全質問項目
◇体育施設の整備について
◇体育施設(とびうめアリーナ)の利用について



問 安全・安心な体育施設利用のために

Q 安全管理の徹底や利便性、快適性を追求することは、施設を管理する行政にとつて大きな役割である。施設を利用されている方から、事故の発生や、施設管理に満足できないという声を聞くことがあるため2点伺う。

①事故などの情報の把握について

②施設の整備計画について

A 部長 ①常々把握に努めておりますが、スポーツ活動は他者との接触が起りやすく、怪我も生じやすいことから、全て把握することは難しい状況となっております。

利用者からの施設の破損など連絡を受けた場合は、軽微なもの是指定管理者にて修理を行い、指定管理者以外の施設については、スポーツ課職員が現場の確認と応急処置を行うとともに業者への修理の依頼を行うなど、早期に状況の改善を図るよう努めています。

②各体育施設の老朽化に伴い、修理を必要とする箇所も増えてきておりますので、改修が必要となる箇所については、毎年必要性や優先度の高いものから計画的に改修を行っているところです。



録画映像はこちら